令和2年度　事業所における自己評価結果公表用（児童発達支援）　《集計表》

事業所名：チャイルドハート唐津

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		適切であるが、利用人数や活動によっては狭いと感じる。室内の配置換え（R3.1.16）にて活動ｽﾍﾟｰｽは広がっているが、クールダウンの場所や学習室の仕切りなど検討していく必要がある。	83%	17%	0%
	2	指導員の配置数は適切であるか	4	2		基準配置は満たしており、利用者の特性に応じて個別対応が必要な場合にも対応出来るよう配置している。	67%	33%	0%
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリヤフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	2	3	1	バリアフリーは難しい状況ではあるが、現在利用されているお子様への環境は適切と言える。	33%	50%	17%
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	4		清潔に保っている。また、心地良く過ごせるよう配慮している。	33%	67%	0%
業務改善	5	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4		週に一度の職員会議や朝礼時に行うようにしている。また、必要に応じて空き時間にて行うこともある。	33%	67%	0%
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		保護者向けの評価表やアンケートは職員会議等で議題として職員間全体での周知を図るようにしている。	83%	17%	0%
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		ホームページを利用し、公開している。	83%	17%	0%
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		外部評価については、本部、法人により指摘を受けたことに対し、職員に伝達し、改善するよう努めている。	67%	33%	0%
	9	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	5	1		研修に関しては、本部研修、一般的な研修に各々参加しており、伝達講習も行っている。	83%	17%	0%
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			アセスメントについては、唐津独自の評価法を検討しており、今後職員の統一事項とし、個別支援計画へと反映させていく。	100%	0%	0%
	11	子どもの状態と適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		統一したアセスメント評価表を使用している。	83%	17%	0%
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			個々の特性を把握し、職員間にて検討しながら計画書を作成している。	100%	0%	0%
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	2		個々の状態に応じて支援を行っており、それが計画に沿っていないこともあるため、その都度計画を修正し、支援にあたる。	67%	33%	0%
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		日々全職員が立案を行うことは難しいが、複数の職員にて活動プログラムを検討している。	83%	17%	0%
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	2		ある程度固定化したプログラムの中で個々の状態に応じて臨機応変に対応している。	67%	33%	0%
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6			個別活動、集団活動の両側面より、個々に合った活動を提供している。	100%	0%	0%
	17	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の行われる支援内容や役割分担について確認しているか	5	1		朝礼にてその日の利用者や活動内容を把握し、支援を行っている。	83%	17%	0%
	18	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	1	2	支援終了後の職員間での打ち合わせは難しく、記録に残すなどし、次回の利用に活かせるように努めている。また、重要事項に関してはその日に職員間で共有出来るようにしている。	50%	17%	33%
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々、活動支援記録を残しており、定期的な個別会議にて支援内容の検討・改善を行っている。	100%	0%	0%

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的（最低6ケ月に1回）に職員会議で話し、見直しや継続の是非を検討している。	100%	0%	0%
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		1	担当者会議により、関係者各位と連絡を密にとり、個々の情報共有に努めている。	83%	0%	17%
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	3		現在、研修会などで情報交換はしているが、より密に連携を行うため、今後の課題としてあげられる。	50%	50%	0%
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか							
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか							
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3	2	園により情報共有出来ていたり最小限であったりしている。今後の課題としてあげられる。	17%	50%	33%
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3		移行支援としての情報共有は行っているものの、より密な連携をとる必要がある。	50%	50%	0%
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	研修には参加しているが、より密な連携が必要と考える。	33%	50%	17%
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	現在、コロナ禍により開催が難しいが、工夫し取り組んでいきたい。	33%	33%	33%
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		4	2	現在、会合への参加は行っておらず、今後感染対策を踏まえたうえで参加していきたい。	0%	67%	33%
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2		ご利用時の連絡帳や送迎を通して情報交換は行っているが、ご家庭によっては不足しているため、共通理解を得る機会を作っていく必要がある。	67%	33%	0%
	31	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか	1	3	2	今年度、事業所独自のものは発信しておらず、今後積極的に発信する必要がある。	17%	50%	33%
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	6			利用契約時に、利用規約、運営規程、支援指針と具体的な内容や利用者負担額、上限額管理の仕組みと利用方法の説明を行っている。	100%	0%	0%
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			個別計画書を作成し、保護者様へ説明し同意を得ている。	100%	0%	0%
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			モニタリングの時期に合わせ、面談にて相談に応じている。また、利用者様の状態の変化や保護者様の要望があればその都度連絡をとっている。	100%	0%	0%
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2		コロナ禍にあり、本年度の保護者会開催はない。今後、感染予防に努め開催していく。	67%	33%	0%
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合は迅速かつ適切に対応しているか	5	1		相談があった場合は職員全体で共通理解とし、対応をとっている。また、対応策についても保護者様に報告している。	83%	17%	0%
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			活動概要や行事予定に関しては定期的に会報を発行している。	100%	0%	0%
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			個人情報記載の文書については鍵付きロッカーに保管し、不要なものはシュレッターにて破棄している。	100%	0%	0%
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		保護者様との意思の疎通では不足している部分もあり、今後の課題と考える。	67%	33%	0%
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	2	本年度はコロナ禍のため開催せず。今後工夫し開催していく。	17%	50%	33%

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1	2	保護者様への周知が不足しており、会報などを通して周知を図る。	50%	17%	33%
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	2	定期的に避難訓練を行っている。	50%	17%	33%
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5		1	利用契約時や服薬がある場合はその都度確認し、対応している。	83%	0%	17%
	44	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	1	医師の指示書での対応は行っておらず、保護者様の報告に基づき対応している。	67%	17%	17%
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	2	ヒアリハットの報告書数は少なく、今後職員へ呼び変えていく。	50%	17%	33%
	46	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		佐賀県庁に依頼し、虐待防止の研修会を事業所にて開催している。	83%	17%	0%
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2		現在、身体拘束の必要性がある利用者様がおらず、そのことに関して検討する機会もない。	67%	33%	0%

令和2年度　事業所における自己評価結果公表用(放課後等デイサービス)　《集計表　構成比》

事業所名：チャイルドハート唐津

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	取組状況・改善目標	はい	どちらともいえない	いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	1	適切であるが、利用人数や活動によっては狭いと感じる。室内の配置換え（R3.1.16）にて活動ｽﾍﾟｰｽは広がっているが、クールダウンの場所や学習室の仕切りなど検討していく必要がある。	67%	17%	17%
	2	指導員の配置数は適切であるか	4	2		基準配置は満たしており、利用者の特性に応じて個別対応が必要な場合にも対応出来るよう配置している。	67%	33%	0%
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	3	バリアフリーは難しい状況ではあるが、現在利用されているお子様への環境は適切と言える。	17%	33%	50%
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	4	2		週に一度の職員会議や朝礼時に行うようにしている。また、必要に応じて空き時間にて行うこともある。	67%	33%	0%
	5	保護者向け評価表、アンケートなどを利用して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		保護者向けの評価表やアンケートは職員会議等で議題として職員間全体での周知を図るようにしている。	67%	33%	0%
	6	この自己評価の結果を、ホームページ等で公開しているか	5	1		ホームページにて公表している。	83%	17%	0%
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		外部評価については、本部、法人により指摘を受けたことに対し、職員に伝達し、改善するよう努めている。	67%	33%	0%
	8	職員の資質向上のため、研修の機会を確保しているか	6			研修に関しては、本部研修、一般的な研修に各々参加しており、伝達講習も行っている。	100%	0%	0%
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			アセスメントについては、唐津独自の評価法を検討しており、今後職員の統一事項とし、個別支援計画へと反映させていく。	100%	0%	0%
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		統一したアセスメント表を使用している。	83%	17%	0%
	11	活動プラグラムの立案をチームで行っているか	5	1		日々全職員が立案を行うことは難しいが、複数の職員にて活動プログラムを検討している。	83%	17%	0%
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		ある程度固定化したプログラムの中で個々の状態に応じて臨機応変に対応している。	67%	33%	0%
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	3	3		長期休暇前には職員会議にて個々の課題を決め、支援に取り組んでいる。	50%	50%	0%
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別活動、集団活動の両側面より、個々に合った活動を提供している。	100%	0%	0%
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日の支援内容や役割分担を確認いているか	6			朝礼にてその日の利用者や活動内容を把握し、支援を行っている。	100%	0%	0%
	16	支援終了後職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	2	1	支援終了後の職員間での打ち合わせは難しく、記録に残すなどし、次回の利用に活かせるように努めている。また、重要事項に関してはその日に職員間で共有出来るようにしている。	50%	33%	17%
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々、活動支援記録を残しており、定期的な個別会議にて支援内容の検討・改善を行っている。	100%	0%	0%
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的（最低6ケ月に1回）に職員会議で話し、見直しや継続の是非を検討している。	100%	0%	0%
	19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	2		計画立案時に盛り込んでおり、計画書に沿って支援を行っている。	67%	33%	0%

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			担当者会議にて連絡を密にとり、個々の情報共有に努めている。	100%	0%	0%
	21	学校との情報共有（年間計画、行事予定、下校時刻等の確認）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	3	1	学校との情報共有は保護者様を通して行っており、不完全な部分があるため、今後の課題と考える。	33%	50%	17%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					0%	0%	0%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		担当者会議により、関係者各位と連絡を密にとり、個々の情報共有に努めている。	50%	50%	0%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	2	3	1	現在の利用者ではまだ行うことがなく、今後必要になれば情報を提供していく。	33%	50%	17%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1	研修には参加しているが、より密な連携が必要と考える。	50%	33%	17%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとと活動する機会があるか	2	2	2	現在、コロナ禍により開催が難しいが、工夫し取り組んでいきたい。	33%	33%	33%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	現在、会合への参加は行っておらず、今後感染対策を踏まえたうえで参加していきたい。	0%	67%	33%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	4	2		ご利用時の連絡帳や送迎を通して情報交換は行っているが、ご家庭によっては不足しているため、共通理解を得る機会を作っていく必要がある。	67%	33%	0%
	29	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関する情報提供を行っているか		5	1	今年度、事業所独自のものは発信しておらず、今後積極的に発信する必要がある。	0%	83%	17%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	6			利用契約時に、利用規約、運営規程、支援指針と具体的な内容や利用者負担額、上限額管理の仕組みと利用方法の説明を行っている。	100%	0%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	6			モニタリングの時期に合わせ、面談にて相談に応じている。また、利用者様の状態の変化や保護者様の要望があればその都度連絡をとっている。	100%	0%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2		コロナ禍にあり、本年度の保護者会開催はない。今後、感染予防に努め開催していく。	67%	33%	0%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情があった場合は職員全体で共通理解とし、対応をとるようにしており、対応策についても保護者様に報告するようにしている。	100%	0%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			活動概要や行事予定に関しては定期的に会報を発行している。	100%	0%	0%
	35	個人情報に十分注意しているか	6			個人情報記載の文書については鍵付きロッカーに保管し、不要なものはシュレッターにて破棄している。	100%	0%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			保護者様との意思の疎通では不足している部分もあり、今後の課題と考える。	100%	0%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	本年度はコロナ禍のため開催せず。今後工夫し開催していく。	0%	50%	50%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3		保護者様への周知が不足しており、会報などを通して周知を図る。	50%	50%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2	1	定期的に避難訓練を行っている。	50%	33%	17%
	40	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		県庁に依頼し、虐待防止の研修会を事業所にて開催している。	83%	17%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		現在、身体拘束の必要性がある利用者様がおらず、そのことに関して検討する機会もない。	50%	50%	0%

	42	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	1	医師の指示書での対応は行っておらず、保護者様の報告に基づき対応している。	67%	17%	17%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	2	ヒアリハットの報告書数は少なく、今後職員へ呼び変えていく。	50%	17%	33%